

床タイル張り施工要領書

プレミックス K3 関東

床タイル張付用ポリマーセメントモルタル

仕様

適用箇所（適用下地）	内装床、外装床（コンクリート、モルタル、PC板）
適用タイル	600 mm角程度までの床用タイル（セラミックタイル、石材）
塗り厚(くし目高さ)	5～30 mm
製品重量	25kg
練水量	約 5L
練り上がり量	約 17L
タイル張り方法	・ 圧着張り ・ 改良圧着張り（クリップ施工可能）

留意点

- 実際に使用するタイルを用いて事前に施工テストを行い、タイル裏面全体に密着できるかを確認してください。タイルサイズや下地の不陸を考慮して、タイル裏面全体に密着できる形状・山高さのクシ目ゴテと、タイル張り方法を選定してください。
- 温度変化や吸湿乾燥の著しく生じる箇所、裏足の無いタイルや石材の場合、タイルや下地の伸縮によって生じる接着層間のひずみによって、接着耐力が損なわれる恐れがあります。このような箇所や、裏足の無いタイルや石材の施工では、改良圧着張りを推奨します。また、しっかりと叩き込みが行えないなど、タイル裏面との十分な圧着が担保できない条件の場合も、改良圧着張りを推奨します。
- 突付け目地にならないように、目地幅は最低 2 mm以上を確保してタイルを割り付けてください。
- 目地深さの違いによって、目地材施工後に色ムラやドライアウトなどの不具合の生じる恐れがあります。目地深さは 4 mm以上確保し、極端な不陸ができないよう、モルタルが硬化する前にできるだけ一定に均しておいてください。
- 接着面の吸水性が高いタイルまたは石材は接着面に吸水調整を施してください。
- 伸縮調整目地を 3m 程度のピッチで配置し、囲まれる範囲を 10 m²以内としてください。

床タイル張り施工方法

1. 下地の確認

下地は十分な養生期間を経過していることを確認してください。

【下地の養生期間】

下地	下地調整モルタル	コンクリート
養生期間	施工した材料の仕様に従う。	材齢 4 週間以上

2. 下地およびタイル裏面の清掃

- ・ 下地表面が平滑すぎる場合は、接着性向上のためカップホイールなどで目荒らしを行い、表面の脆弱層もすべて除去してください。
- ・ 下地表面に粉塵などの残留物がないように、真空掃除機でしっかり回収してください。
- ・ 床タイル裏面には白い粉が付着している場合があります。ウエスなどで拭いて除去できる分だけ全て除去してください。粉状で残留しているまま張付けると、接着を阻害します。

3. 下地への吸水調整

- ・ 吸水調整材として、「ユニレックス 3」の原液を上水道水で 5 倍に希釈して使用してください。

【5 倍希釈の割合】

材料	ユニレックス 3	上水道水
割合	1	4

- ・ 塗布量の目安 150g/m²
- ・ 刷毛やローラーを用いて、まんべんなく塗布してください。
- ・ 吸水調整材が完全に乾燥した後、タイル張りを行なってください。
(乾燥時間の目安: 夏期 1 時間程度・冬期 3~4 時間程度)
- ・ 概ね乾燥していて、液溜りができて乾燥しにくい部分がある場合は、刷毛で延ばして乾燥させてください。
- ・ 吸水調整後は粉塵等が付着しやすくなるため、おそくとも翌日中までにタイルを張り終えてください。
- ・ 吸水調整後、タイル張りが完了するまでは、周辺での粉塵の発生する作業は控えてください。

4. 水系の引き直し

- ・ 割り付け図に基づき、水系を引き通してください。

5. プレミックス K3 の練り混ぜ

プレミックス K3 の調合	
粉体	水
25kg	約 5 斗

- ・ 所定量の上水道水を練り混ぜ容器に入れ、製品粉体を徐々に加えながらハンドミキサーでダマが残らないよう十分に攪拌してください。(練混ぜ時間の目安は、粉体を全部投入してから 2~3 分です。)
- ・ 練り混ぜ後は、夏期 40 分以内、冬期 60 分以内に使用してください。
- ・ 練り足しや水を加えての練り直しは避けてください。

6. プレミックス K3 の塗り付け

- ・ 塗り付ける範囲は、10 分以内にタイルを張り付けることができる程度にしてください。(2 m²程度/人)
- ・ 一度下地に刷り込むように擦り付けながら 1～2 mm厚で塗り付け、続けて重ね塗りした後に、所定の厚さになるようクシ目を立ててください。
 - ※ タイルサイズと下地の不陸を考慮し、張り付けた後に空隙の残らない塗り厚となる、形状および山高さのクシ目ゴテを選定してください。
 - ※ クシ目を立てた時の高さのラインが一定となるようにご注意ください。広くぼみが出てしまうとタイルと密着できずにエアポケットができてしまい、のちにタイルの割れや剥離の原因となります。

7. タイルの張付け

1) 塗り置き時間

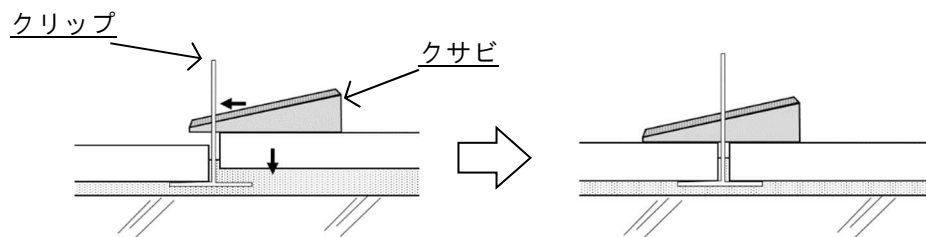
- ・ タイルの張付けは、プレミックス 3 の塗りつけ後、10 分以内に行ってください。
塗り置き時間はあくまでも目安です。環境条件によって表面の乾燥時間が早まる場合があります。適宜に張付けたタイルを剥がし取り、裏面の接着状態を確認し、接着状態を見て、塗り置き時間の調整を行ってください。

2) 張付け

- ・ タイルを張り付け、水平器等を使って隣り合うタイルとの段差を確認しながら、ゴムハンマーなどで十分に叩き押えて、所定の仕上がり面になるように調整してください。
 - ※ 改良圧着張りを行う場合は、タイルを張り付ける直前にタイルの裏面に練り混ぜたプレミックス K3 をしっかりと擦り塗りして 1～2 mm厚程度で塗り付け、直ちに張り付けてください。(複数の作り置きはしないでください。)
- ・ 目地幅は最低 2 mm以上を確保してください。

【クリップ施工の場合】

- ・ 標準的なクリップ底面の厚さは 3 mmです。この場合、タイルを締め付けた後のモルタル厚さは最低 5 mm必要ですので、これを考慮した塗り厚にしてください。
- ・ タイルを張り付けてから直ちにクリップを取り付けてください。
- ・ クリップを挟んでタイルが隣り合った箇所から、クリップにクサビを差し込み締め付けてタイル間の仕上がり面を水平にしてください。押さえ込んだタイルを引き起こすことがないようにご注意ください。



- ・ クリップの除去は、モルタルが硬化していることを確認してから行ってください。

3) 目地処理

- ・ モルタルが硬化する前に目地部分のモルタルを掻き取って、目地深さを 4 mm以上確保し、できるだけ深さを一定にしてください。目地深さが浅すぎたり、ある程度均一でないと、目地材を施工した後に色ムラやドライアウトなどの不具合の生じる恐れがあります。

4) 清掃

- ・ 施工直後はタイルに乗れませんので、施工した列ごとに清掃してください。仕上げ面に付着したモルタルは硬化する前に除去し、水で濡らしたウエスと乾いたウエスを併用してきれいにふき取ってください。

8. 養生

- ・ 施工後 24 時間は、雨・雪・直射日光・強風・放射冷却にさらされないようシート等により保護してください。
- ・ 2 日間以上で軽歩行可能です。最低 14 日間は道板などを敷いて加重を分散させてください。

9. 目地詰め

- ・ 目地詰めは、張付材の施工後 2 日間以上経過してから行なってください。

《取扱上の注意事項》

- ・ 製品の保管は、屋内の湿気の少ない場所で、パレット等に載せて床から離してください。
- ・ 製品は製造年月日を確認して、4 ヶ月以内にご使用ください。
- ・ 固まった製品の使用は避けてください。
- ・ 気温が 3℃ 以下および 3℃ 以下になると予想される場合は、施工は行なわないでください。
- ・ 製品には弊社の指定する材料以外の混入は避けてください。
- ・ 製品のお取扱に際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用の上、適切な安全対策を実施してください。